

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2026年7月15日 実施報告

参加者：親子6組（子ども8名）

担当：心理学部学生14名（プログラム実施C2班 / 補助C1班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

テーマ：やさいさん

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は「やさいさん」をテーマに、絵本の読み聞かせや野菜の収穫ごっこ、手遊びを行いました。

はじめに、仕掛け絵本「やさいさん」の読み聞かせを行いました。絵本の中で繰り返し出てくる「やさいさん やさいさん だあれ」という言葉をお子さんも含め全員で声に出して楽しめるよう、ゆっくり読むことを意識しました。お子さんたちは一緒に声を出したり、ページがめくられるまで絵本を見つめていたり、どんな野菜が登場するのか興味を示してくれていました。

次に、手作りの畑から野菜の工作物を引き抜く収穫ごっこを行いました。お子さんを2グループに分けて実施し、時間を区切って中身の野菜を入れ替えることで様々な野菜を引き抜けるよう環境を整えました。学生が「すっぽーんしてみて！」と絵本にも出てきた言葉を口にしながら野菜の端を見せると、お子さん自ら手を伸ばし野菜を引っ張り、引き抜くことができる喜び姿がみられました。お子さんによってお気に入りの野菜ができたようで、特に大きいサイズのにんじんや引っ張ると3個ついてくるじゃがいもが人気を集めていました。収穫し終わった野菜でカゴがいっぱいになった後は、手遊び歌「やさいのうた」を全員で歌いました。手本となる学生はお子さんたちが真似しやすくなるよう、動きを大きく見せることを意識しました。お子さんたちは学生の動きにじっと見入ったり、同じようにリズムに合わせて体を動かしたりしていて、音楽を楽しんでくれている様子がみられました。

最後に、本プログラムの目的である、親子で同じ体験を分かち合う、楽しさの共有の大切さについて説明させていただきました。今回のプログラムをきっかけにご家庭でも野菜のお話を楽しんでいただけますと幸いです。本プログラムにご参加いただきありがとうございました。



文責：C2班 大畑、坂井、窪田、中村、田中、工藤、井上

子育てサロン特別プログラム「がくせいとあそぼう」

2026年7月8日 実施報告

参加者：親子 10 組（子ども 12 名）

担 当：心理学部学生 7 名（プログラム実施 C-1 班 / 補助 C-2 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

テーマ：うみであそぼう

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回のプログラムでは、海をテーマとした遊びを 3 つ準備していました。

1 つ目の遊びは「小さな海」の工作です。ジップロックに画用紙・絵の具・洗濯のり・ラメを入れた「小さな海」をお子さんたちに渡すと、初めは不思議そうに眺めていました。学生が「小さな海」を手で揉んでお手本を示すと、引っ張って伸ばしてみたり、足で踏んでみたり、思い思いの方法で中の絵の具の変化を楽しんでくれました。

2 つ目の遊びは「ジンベエザメの餌やり」です。ビニール袋と新聞紙で作った大きなジンベエザメが出てくると、お子さんたちは驚いた様子で指をさして近づいたり、保護者の後ろに隠れたりしていました。学生たちが誘導すると、一人ひとり順番にジンベエザメに餌やりをすることが出来ました。餌やりの後は、「ジンベエザメ」の体を触ったり、上に乗ったりして、ふわふわの感覚をみんなで一緒に楽しみました。

3 つ目の遊びは「タコ玉入れ」です。風船のタコ達が見えると、お子さん達は自分から進んでタコの周りに集まってくれました。小さなお子さんは赤い風船をじっと眺め、手をそっと伸ばしていました。大きなお子さんは、学生から風船のタコを両手に抱えるように受取り、タコつぼに運んでくれました。

最後の「おわりのあいさつ」では、今回のプログラムの目的である、物の特徴や特性の理解を促進することについて説明させていただきました。

タコつぼが大きすぎてお子さんたちの手が届かなかったり、失敗はありましたが、保護者のみなさまのご協力のおかげで無事に実施することができました。ありがとうございました。



子育てサロン特別プログラム「がくせいとおそぼう」

2026年6月17日 実施報告

参加者：親子8組（子ども10名）

担当：心理学部学生8名（プログラム実施B2班 / 補助B1班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

テーマ：お弁当を作ってピクニックに行こう！

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今日は、みんなで一緒にお弁当作って、ピクニックに行くプログラムを行いました。

はじめに、お弁当作りをしました。フェルトや紙、毛糸など、様々な素材で作られたおかずを、一つひとつ指でつまんでお弁当箱に詰めてもらいました。学生がお手本を示した後、お子さんたちのお名前を順番に呼んで並んでもらいました。少し恥ずかしそうに前に出て来たお子さんも、おかずをとるときには、「美味しそう」「どうぞ」「ありがとう」と、学生とやりとりしながら、上手におかずを指でつまんでお弁当箱に詰めてくれました。きょうだいで参加して下さったお子さんは、上のお子さんが下のお子さんの分まで作ってくれていました。

続いて、作ったお弁当をもって、みんなでピクニック会場へ向かいました。お家のドアを開いて出発すると、お子さんたちは学生の真似をして音楽に合わせて足踏みをし、学生の後ろをついてきてくれました。歩いているときに、壁につけたウサギやイヌを見つけると、それに向かって手を振ってくれました。2周ほど歩き、音楽が止まると、円になって座りました。みんなで手を合わせて「いただきます」をしてお弁当を食べました。おかずはフェルトや紙など素材が違うものでできているため、触り心地を楽しんでもらえたのではないかと思います。特にイチゴは中に鈴が入っており、音も楽しんでもらえるように工夫しました。最後はみんなで手を合わせて「ごちそうさまでした」をしました。

今回のプログラムでは、お弁当を作る中で具材をつまむ微細運動や食べる真似などの見立て遊びを取り入れました。お家でも、お持ち帰りいただいた手作りのお弁当で楽しんでもらえると嬉しいです。



子育てサロン特別プログラム「がくせいとおそぼう」

2026年6月10日 実施報告

参加者：親子7組（子ども8名）

担 当：心理学部学生7名（プログラム実施B1班 / 補助B2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

テーマ：まねっこできるかな？

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は3匹のこぶたを題材として、寸劇、手遊び、お家作りをしました。はじめに、お子さんたちに動物に変身してもらい、動物のまねっこ遊びをしました。学生がきつね・くま・ねこの3種類の動物のお面を持って近づくと、最初は緊張した様子だったお子さんたちも、お面を見るとそっと指を示して選んでくれました。次に3匹のこぶたさんが登場し、オオカミさんから身を守るお家作りが始まりました。壁には新聞紙で丸めた「石」を貼り付け、レンガの屋根は「トントン」と手でトンカチをまねて家作りを行いました。学生がお手本を見せると、小さいお子さんは保護者に手を添えてもらって、大きいお子さんたちは自分から、上手にまねっこができました。学生が「できたね～」と拍手をすると、楽しそうに何度も繰り返す様子が見られました。お家が完成すると、オオカミさんが現れました。学生が先導してお子さんたちに「お家の中に！」と誘うと、はじめは一人で入るのを躊躇していましたが、お母さんが一緒に入ってくださると、小さな入り口をくぐって、みなでお家の中に入ることができました。お家の中からオオカミさんに、みんなで一緒に「ダメ出し」したところ、オオカミさんは降参し、仲直りすることができました。最後に全員で、3匹のこぶたの歌を手拍子しながら歌いました。

今回のプログラムは、家を作る、手遊びをするなどの動作を、お子さんがまね（模倣）しやすくなるよう、学生が繰り返しお手本を見せる工夫をしてみました。お持ち帰りいただいたお面や動物たちのイラストが、ご自宅でのごっこ遊びやお話のきっかけになると幸いです。保護者の皆様、先生方、保育スタッフの皆様、ご協力いただきありがとうございました。



文責：B1班 臼井、村上、森、福水、阿部、山本、ダルレネ、野口

子育てサロン特別プログラム「がくせいとおそぼう」

2026年5月20日 実施報告

参加者：親子3組（子ども3名）

担当：心理学部学生8名（プログラム実施A2班 / 補助A1班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

テーマ：あじさい あめふり パーティー！

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回のプログラムは、梅雨をテーマとした手遊び歌やちぎり絵遊びなどの活動を通して、身体を動かす楽しさや創作することの喜びを感じてもらうとともに、親子で梅雨の季節を感じてもらうことを目的に実施しました。

最初に、「あめぽん」という手遊び歌を親子で一緒に楽しんでもらいました。小さなお子さんたちにもわかるように、学生が前に出てお子さんの顔を見ながら笑顔で大きく動いてお手本を見せ、手遊び歌の楽しさを表現するように心がけました。お子さんたちは学生の動きに興味をもって見つめてくれたり、自ら立って腕を伸ばし、笑顔で踊ってくれたりしました。

次にちぎり絵遊びを行いました。みんなで協力しながら、お花紙をちぎってうちわに貼ったり、絵を描いたり、雨に関連するシールを貼ったりして、あじさいの花のうちわを作りました。初めは、紙をちぎることに戸惑うお子さんも見られましたが、学生やお母さんから褒められることで、楽しみながら取り組む姿が見られました。

最後に、お花紙をうちわであおいで舞わせる遊びを行いました。お花紙を250枚ほどちぎったものを部屋の真ん中に準備し、みんなでうちわであおいで花吹雪にしました。お子さんたちは大きく舞い上がるお花紙に驚いたり、面白がったりしてくれていました。予想以上の大きな花吹雪になり、学生もびっくりでした。

活動終了後には、このプログラムで意識した粗大運動・模倣・微細運動・社会性の発達について説明させて頂きました。保護者の皆様のご協力のおかげで安全にプログラムを実施することができました。本当にありがとうございました。季節の思い出のひとつとして、心に残していただけたら幸いです。



文責：A2班 釣田，南篠，永良，宮地，鈴木，小玉，永田

子育てサロン特別プログラム「がくせいとおそぼう」

2026年5月13日 実施報告

参加者：親子10組（子ども14名）

担当：心理学部学生8名（プログラム実施A1班 / 補助A2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 謝 / 保育スタッフ 下村・福本・高木・矢崎

テーマ：うさぎさんと一緒にニンジンケーキ作り

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今回は、体を動かす活動を通して、社会性・微細運動・模倣といった子どもの基礎的な発達を総合的に促すことを目的にプログラムを計画しました。初めに、「野菜の歌」を一緒に歌いました。歌詞カードを掲示し、歌遊びを2回行うことで皆さんと一緒に踊ることができるように工夫しました。次に、うさぎさんたちが協力してニンジンケーキを作るという内容の、A1班特製の紙芝居を見てもらいました。お子さんたちは出てきたニンジンやケーキを指さして興味を示してくれました。紙芝居が終わると、皆で「バスに乗って」を歌い、絵本の世界から飛び出して手作りのにんじん畑で収穫体験をしてもらいました。初めに学生がお手本を示したことで、年齢の低いお子さんにもルールがわかりやすく、夢中で楽しんでいただけたと感じています。さらに、お子さん同士でニンジン譲ってあげるような微笑ましい場面も見られ、子ども同士の関わり合いをも促す素晴らしい体験となりました。手に持ったニンジンで「手をたたきましょう」を歌ったあとは、大きなボウルの中にニンジンを入れて皆でかき混ぜ、ニンジンケーキを作りました。「もうすぐできるよ!」とボウルの前で布をひらひらさせると興味津々に近づいてきて、「3.2.1!」の合図で大きなケーキへと大変身しました。お子さんも保護者の方々もとても喜んでくださり、その場は大いに盛り上がりました。最後の仕上げとして、ケーキの上にニンジンを乗せてみんなで一緒に飾り付けを行い、世界で一つだけのニンジンケーキを完成させることができました!たくさん手伝ってくれたお礼に、ケーキのイラスト入りカードをプレゼントしました。プログラム終了後に、これらのプログラムから得られる発達と発達段階に合わせた遊びを提案させていただきました。ご参加いただいた保護者の皆様をはじめ、携わっていただいた皆様ありがとうございました。



文責：A1班 白髭、安井、飯塚、石田、竹内、綱木、宮内、野村